

保育機能施設型認定こども園

Fuji こどもの家 **バンビーノの森**

2020年度 生徒募集のご案内

「バンビーノの森」は、ひとつの私立幼稚園が閉園することをきっかけに、理想の子育てと幼児教育の場を追求し始めた父母たちにより、2007年4月に始まった認可外保育施設です。10年目にあたる2016年8月に“保育機能施設型認定こども園”として認定されました。

“森のようちえん”と“モンテッソーリ教育”を主体に、自然と育む「智」「徳」「身」を建学の精神として活動しています。

ひとりひとりを大切に、子どもたちが本来持っている力を最大限引き出すよう、保育者と家族が連携し「子どもたち」を支援して行きます。

どうぞ、一緒に！

2020年度募集園児定員 3歳児 12名（1号認定9名・2号認定3名）

園児募集説明会 8月18日（日） ・ 8月19日（月） 10:00～11:30

申し込み 入園申込書を記入の上、入園申込金を添えて持参してください
9月2日10時より 受付開始 *1次締切 9月30日

入園決定 簡単な面接 および 居住市町村での教育・保育認定により決定

入園の案内 入園準備説明会（2月上旬頃）

見学週間 8月26日（月）～30日（金）9:00～15:00
子どもたちの普段の様子をぜひご覧ください。（予約制）

ご不明な点やご心配なことがございましたら、お気軽にお問合せください。

☆ ホームページ・ブログ随時更新中 ☆

ブログ“森のごきげん”で毎日の様子が分かります。 <http://www.bambino-mori.co.jp>

お問合せ・お申込み

保育機能施設型認定こども園 Fuji こどもの家バンビーノの森

山梨県南都留郡富士河口湖町勝山3407-1

TEL 0555-72-9995 FAX 0555-72-9996

E-mail info@bambino-mori.co.jp



Fuji こどもの家

バンビーノの森

入園のご案内

名称	認定こども園 Fuji こどもの家バンビーノの森
運営主体	株式会社バンビーノの森 代表：朝比奈茂
場所	山梨県南都留郡富士河口湖町勝山3407-1 及び 周辺の山林
開園日時	月～金曜日 8時～17時
休園日	1号認定 土日祝祭日、春・夏約1週間、冬約2週間、湖上祭、職員研修 2号認定 土日祝祭日、お盆3日、年末年始(12/29-1/3)、年度末(3/31 又は 4/1)
保育時間	1号認定 9時～15時（15時30分から延長保育）・時間外保育あり 2号認定 8時30分～16時30分（保育短時間認定）・時間外保育あり
クラス	満3歳～6歳 異年齢混合クラス
保育内容	AM 森を中心とした野外活動（原則として雨でも） PM 室内活動（モンテッソーリ教育）
入園申込金	10,000円（検定料・慣らし保育2回・事務手数料等）
保育料	居住する市町村の定める金額（0～28,500円位）
昼食	主食持参 ＊料理の日・おむすびの日・お弁当の日あり 手作り給食 1食360円（税別） 又は お弁当
その他費用	施設整備費（入園金相当）1,500円/月、教育充実費（教材費含）3,000円/月、 暖房協力費（10月～3月）500円程度（月）、行事費など（税別）
体験入園	楽しく通園できるように、入園前に慣らし保育が受けられます。
服装等	制服はありませんが、野外活動の為に上下別のカッパ・リュック等と、年長時に 地下足袋が必要となります。
アフター スクール	ご希望により週2回ネイティブスピーカーの講師による、英会話のレッスンが 受講できます。

森づくり隊（保護者任意参加） 随時開催

園舎や活動場所の整備、森のブランコ・倒木のシーソー・小枝の基地作り、
お父さんたちが子どもの頃になえられなかった夢を実現させたり、地域の森林
環境を考えたり、パパ達が子育て談議を楽しむ、森作りを一緒にしませんか

バンビーノの森

～建学の精神～

自然と育む 「智」 「徳」 「身」

～教育目標～ バンビーノの森がめざす子ども像

- ◎自分で考え 自分で行動できる子ども
- ◎自分も 人も 地球も 慈しむ子ども
- ◎心も 身体も しなやかに 健康で たくましい子ども

～教育内容～

森のようちえん

1950年代半ば頃、最も多感な幼児期に、子どもを自然環境の中で育てたいというデンマークのひとりの母親の思いから「森のようちえん」は始まったものだと言われています。園舎がなく備え付けの遊具もない、「森」そのものが、遊び場であり、学び場であり、成長の場です。こうした考えや行動がデンマークからドイツ、スウェーデンなどへ広がりました。そして日本においても、子どもたちの体験不足や体力低下が叫ばれるなか、幼児期の自然体験活動が心身の発達にもたらす効果が注目され、「森のようちえん」の活動が広がってきています。1年を通じ自然の変化を感じながら、遊びを見つけ、創り出す、そこでは人間同士だけでなく、人と自然も協調し思いやる心が育まれます。

幼児期に自然の中でたっぷり活動をした子どもたちは心も身体も健康で、創造性・コミュニケーション力豊かに成長し、自信と責任を持って行動できると信じています。

また、今の子どもたちが大人になるころ、自然環境への配慮は今以上に必要になってくると思われます。ここで幼児期を過ごした子どもたちは、将来にわたり自然への配慮を無理なく、当たり前のこととして行動できることでしょう。

モンテッソーリ教育

モンテッソーリ教育とはイタリアで女性初の医学博士となったマリア・モンテッソーリ(1870～1952)が始めた、教育界に最も大きな影響を与えた教育方法の一つです。

子どもは自らをより良く発達させようとする力を持っていて、発達段階で手を使いたい、言語を知りたいなど、ある特定の事柄に特別な感受性を発揮する時期があります。これを「敏感期」といい、この時期に本当にやりたいことに出会ったとき、子どもはその作業を繰り返し、集中します。作業の過程で得た集中力と達成感、満足感が子どもの人格形成にとっても良い影響を与えます。モンテッソーリ教育の内容は日常生活の練習、言語教育、数教育、感覚教育、文化教育など様々ですが、それぞれを教えるのではなく敏感期を見逃さずに支援してゆく活動です。

芸術活動

「バンビーノの森」では“絵画造形活動”と“身体表現活動”“陶芸”の専門の先生を年数回お招きし、日常の芸術活動のアドバイスを頂きながら子どもの心と感性を育てています。

Fuji こどもの家 バンビーノの森 保護者のこえ

年少男児 父

気がつけば、もう1年の3分の1が経過しようとしています。当初は遠くから通うことや、他の子とうまくやっていけるか、毎日森で遊ぶということで、体力面は大丈夫だろうかと色々不安もありましたが、今ではすっかり園に通うのが楽しくなっています。以前より体を動かす遊びが好きになり、草花や虫にも興味がわいてきた様で、変化に驚いています。また、たくさんの行事を行ったり、毎日多くの写真をアップして下さる等、先生方の日々の努力に感謝いたします。特に写真は、父親ということで普段なかなか園の活動に関われない者にとって、活動の内容、子どもの様子を垣間見れるよいツールとなっています。私自身、森づくり隊、親子遠足、10周年記念行事等に参加させて頂き、大変有意義な機会でした。今から保育参加の日が楽しみです。

年少女児 母

入園前は何事にも慎重で、周りの人に確認をとらないと行動できないタイプの子どもでしたが、バンビーノに通い始めてからは、びっくりするほど行動力のある子どもに変わりました。今までは「ママが先にやって」が口癖でしたが、今では「私がやるからママは見てて」と自分でいろいろと考えながら、まずはやってみるといことが日々の生活の中でも増えてきたように感じます。また、森の活動やモンテッソーリのお仕事を通して、観察力や発想力、集中力なども日に日に身につけてきていることに毎日驚かされます。これからの3年間の園生活で娘がどのように変わっていくのか、今からとても楽しみです。

年少女児 母

入園時よりアクティブに行動し、友達ともよく遊ぶタイプだったので、バンビーノの森での遊びはとても楽しいようです。友達とたたき合ったり、ぶつかり合ったりするので、年少・年中・年長さんと、様々な年齢のお友達と毎日共に行動しながら色々学んでいるようでお友達が泣いている際に即座に近寄って行き、大丈夫？と頭をなでてあげたり、やさしい言葉をかけてあげられる様になっていて、うれしく思います。森での活動、園での活動が毎日楽しくて、家に帰るのを嫌がる位です。バンビーノにして、本当によかったです。子どもの頃に必要な大事な時間を作ってくれているこの園が大好きです。

年中女児 母

入園して4ヶ月になります。毎日森に行く生活が始まり、よく寝、よく食べるようになったと思います。花の名前をよく覚えてきて、自宅の食卓に飾る花をいつも気にして、かわいい花を摘んできて活けてくれます。また、今まで「怖い」とばかり言っていた虫にも興味が強くなり、生きものを捕まえたり、飼ったり、本等で生態系を調べたりするようになりました。園に迎えに行くと、子どもたちがいつも生き物や植物と接して、生き生きと目を輝かせていて、とてもいい環境だな、これから始まる机の上の勉強とは違う、すごく大切な学びをしているのだろうなと感じます。午後のモンテッソーリのお仕事の時間では、子どもの「やりたいこと」をやらせてくれるようで娘はとても楽しいようです。ひらがながまだスラスラ読めないけど、「書きたい」気持ちが強いようで、その気持ちを大切に下さり、「書ける字」から積極的に書いているうち、きちんと読めるようなお手紙を書いて渡してくれたことはとても嬉しかったです。また、ひもを結ぶことに興味を持っています。難しい作業なども一生懸命やっているようで、子どもの「やりたい！」という気持ちを大切に見守ってくださる園の方針はすごいなと思います。先生方の子どもへの接し方も、お友達に「ダメ」と言った子に対して「今の言い方だと〇〇ちゃんの気持ち伝わったかな？」など聞いていて、子どもがこれから一人でコミュニケーションをとっていくにあたって必要な言葉がけをして下さっているんだなと驚くと共に、子どもを独立した人格として見ていくということを勉強させられます。食育や季節の行事も熱心にされていて、親の方が楽しみです。子どもを通して、季節、自然をより身近に心豊かになったと感じます。

年中男児 母

送迎が大変ですが毎日野外での活動は体力がある子どもにとって、とてもあっているようです。自然の中でのびのびと遊べるところがとても良い環境だと思います。自分で考え行動する毎日の生活の中で、子どもなりに何かを学んで吸収していくことが多いのではないかと思います。心も体もさらに成長するのを楽しみにしています。

年少男児 母

登園時に泣くことが多かった息子でしたが、いつも優しく受け止めてくださったおかげで、今では元気に挨拶ができるようになりました。汚れるのが大嫌だったのに、以前よりダッパシクにのびのびと遊んでおり、うれしく思います。予想外の事、新しい事を体験する時、納得するまでに時間がかかり、泣いてしまうことが多いのですが、先生方は寄り添って待ってくださるおかげで、一歩ずつ成長しているように感じます。また、家では体験できないようなことも積極的に取り入れてくださっているので、体験の幅が広がっていて、とてもありがたいです。



入園までの手続き

募集要項・願書の配布

入園説明会

8月末頃～

第1回説明会以降配布

園の教育方針などについて説明会があります。



ようちえん 見学
未就園児対象の教室

8月下旬1週間(要予約)
年10回程度開催

見学週間 普段の子ども達の様子をご覧ください。
子育て支援講座「森で遊ぼう」などに参加して、
園の活動を実際に体験する事も出来ます。
ご連絡いただければ、随時見学も可能です。



入園願書の受付

9月2日 10時より
1次締切 9月30日

入園申込書・支給認定申請書・就労証明書(2号)
と入園申込金をお持ちください。
空きがあれば、締切以降先着順に受付



申し込み多数の場合
抽選

10月1日 10:30～

1号認定の申込が定員を超えた場合に行います。
抽選の有無は締切日までにお知らせします。
2号認定は市町村の基準により判断されます。



入園内定

10月

簡単な面接をおこないます。
市町村へ教育・保育認定申請を行う。



入園決定

1月頃まで
(居住市町村による)

居住市町村にて教育・保育認定
*満3歳で入園(1号認定のみ)を希望される方は、
入園内定後11月1日から定員に空きがあれば入園可。



入園準備説明会

2月(予定)

入園後必要なものについての、説明会があります。



体験入園

2月・3月
(日程は後日)

4月の入園前にお友達といっしょに遊びます。
森1回・教室1回



入園式

2020年4月9日

森での入園式です。ご家族でご参加ください。
入園後1週間程度慣らし保育期間があります。
*2号認定は4月1日より保育可能

認定こども園 Fuji こどもの家バンビーノの森

園児募集・選考要項

- 次年度年少児の入園申込みは毎年9月1日に開始し、9月30日に第一次締め切りとする。
- 定員に空きがある場合は、途中入園を受け付ける。(満3歳入園は11月1日以降)
- 入園申込みが学年定員を超えた場合は、1号認定・2号認定別に入園選考を行う。

選考基準は次の通りとする。

【1号認定入園選考基準】

1. 当園の建学の精神・教育目標・教育内容を理解していること
2. 兄妹が在園していること
3. 公開抽選による
4. 申込締切後は先着順とする
5. 対象児の性別が学年定員の2/3以上に偏った場合は調整を行うことがある

【2号認定入園選考基準】

1. 当園の建学の精神・教育目標・教育内容を理解していること
2. 兄妹が在園していること
3. 居住地の市町村の基準による

《1号認定抽選方法》

- 抽選は10月1日に行う(週末の場合は、翌月曜日)
- 抽選の順序は申し込み順とする
- 落選には繰り上げ順序を付与する
- 抽選日に参加できない者は、抽選順を最後とし、園の職員が代理する
- 落選者の入園申込金は、事務手数料を除き返金する
- 落選者の申込書類一式は、その場で返却する
- 繰り上げ入園決定の場合は、入園金差額と書類一式を再提出する